

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	台東区の民話と伝承遊びの普及					所管	教育委員会 生涯学習課
	行政計画	事業NO.	54	計画事業名	台東区の民話と伝承遊びの普及		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						
		[小 柱] (1)文化の継承と発展						
		[施 策] ②地域文化の活用と発展					[事業開始]	平成 9 年度
		[終了予定]						- 年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区の民話と伝承遊び普及委員会設置要綱				
	事業対象	区立保育園・こども園・幼稚園児及び区立小学校児童、一般区民						
	事業目的	台東区に伝わる伝説や民話、伝承遊びを子供たちに伝えることで生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成する。						
	事業内容	<p>①普及活動:年間約60回程度。教育委員会が委嘱した民話と伝承遊び普及委員が区立幼稚園、保育園、こども園及び小学校を訪問し、区内に伝わる民話の紙芝居を演じたり、古くから伝わる昔遊びの指導等を行う。</p> <p>②普及委員会:年6回開催。普及委員が一堂に会し、活動報告や研修、教材の開発などを行う。</p> <p>③頒布:「台東区むかしむかし-お話と遊び」区内に伝わる民話や昔遊びをまとめた冊子「台東区郷土かるた」読み札を公募して作成した郷土玩具 の2種の頒布。</p>						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	普及活動回数(学校・園)	回	61	61	59	60	
		参加児童・園児数	人	2,600	2,583	2,592	2,563	
	成果指標							
	決算額 (単位:千円)				707	852	986	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,700	1,604	1,783	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			52	42	62	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			655	810	925	
		総経費			2,407	2,456	2,770	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			71	55	54	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			2,336	2,401	2,716			
前回評価から改善した事項	安定した運営と普及活動の充実を図るため、普及委員の養成が急務であったことから、平成26年度から3か年、普及委員養成講座を計画、実施しており、普及委員の数が増加した。また、新規教材としてペーパーストを作成した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	台東区に住んでいながらも、伝わる伝説や民話、伝承遊びを知らない子供たちも多い。学校・園では普及活動に対する理解が浸透し、カリキュラムとして定着しつつある。生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成するために当該事業は必要である。					
	効率性	3	普及活動の教材及びその材料の余剰を極力出さないようにするなど、引き続き経費の削減に取り組んでいる。さらに教材の開発、自作をすることによって、効率的に事業を運営することができている。					
	手段の適切性	3	普及委員養成講座によって新規の普及委員が増えた。各普及委員は様々な経歴をもっており、それぞれの良さを生かしながら普及活動や教材開発をすることができている。					
	目的達成度	3	全訪問予定園に対して、普及活動を行うことができた。今後は教材の開発や、普及委員の研修を推進し、さらに充実した普及活動としていく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	
普及委員養成講座によって新規委員が加わり、また新規教材の開発も行ったことから、普及活動が充実できた。学校・園からの要望なども踏まえ、継続的に実施していることで参加児童・園児も増加傾向にある。今後も普及委員の育成や教材開発を行い、効率化を図りながら事業を進めていく。							維持	
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	